

第2期計画の成果と課題

- 確かな学力と自立する力の育成
 - 埼玉県学力・学習状況調査を活用した指導改善の一層の推進
- 豊かな心と健やかな体の育成
 - 児童生徒の自己肯定感・自己有用感の向上、運動習慣の確立
- 質の高い学校教育を推進するための環境の充実
 - 「主体的・対話的で深い学び」の推進に向けた教員の授業力向上
- 家庭・地域の教育力の向上
 - 「親の学習」の推進、学校応援団の活動内容の一層の充実
- 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進
 - 生涯学習の参加支援、文化芸術活動への参加促進、スポーツ活動等の推進

教育を取り巻く社会の動向等

- 人口構造の変化：生産年齢人口の減少と異次元の高齢化
- 急速な技術革新：AI等の先端技術が進展し、経済や雇用に影響
- グローバル化の進展：多文化共生社会の到来、グローバル競争の激化
- 経済・雇用情勢と格差の拡大：子供の貧困、貧困の連鎖
- 地球規模の問題の進行：貧困・紛争、環境問題等の進行
- 子供をめぐる状況の変化：幼児の生活体験の不足、特別支援学校等の児童生徒の増加、児童生徒の多様性に配慮した教育の推進等
- 家庭・地域の状況変化：家庭・地域の教育力の低下
- 教員の役割の増大：学校や教員に対する多様な期待による長時間勤務

今後取り組むべき課題

- ①社会の激しい変化に対応するための知・徳・体の育成と環境整備 ②職場や地域社会で多様な人々と連携・協働する力の育成
 ③多様なニーズに対応した教育機会の提供 ④家庭教育の支援、学校・家庭・地域の連携・協働 ⑤人生100年時代を見据えた生涯学習・文化・スポーツの推進

基本理念：「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」

誰もが参画しうる生涯を通じた多様な学びを実現し、自身の人生や社会の未来を切り拓く力を育成する

- 夢や志を持ちつつ、社会の激しい変化に対応して、主体的に社会に関わり、未来に向けて新たな価値を創造できる力を育成する。
- 埼玉県学力・学習状況調査や協調学習、学校応援団など、本県独自の先進的な取組を更に発展させ、充実させる。

10の目標と30の施策

主に児童・生徒に対する施策

- 目標Ⅰ 確かな学力の育成**
 施策1：一人一人の学力を伸ばす教育の推進
 施策2：新しい時代に求められる資質・能力の育成
 施策3：伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進
 施策4：技術革新に対応する教育の推進
 施策5：人格形成の基礎を培う幼児教育の推進
- 目標Ⅱ 豊かな心の育成**
 施策6：豊かな心を育む教育の推進
 施策7：いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実
 施策8：人権を尊重した教育の推進

- 目標Ⅲ 健やかな体の育成**
 施策9：健康の保持・増進
 施策10：体力の向上と学校体育活動の推進

- 目標Ⅳ 自立する力の育成**
 施策11：キャリア教育・職業教育の推進
 施策12：主体的に社会の形成に参画する力の育成

- 目標Ⅴ 多様なニーズに対応した教育の推進**
 施策13：障害のある子供への支援・指導の充実
 施策14：不登校児童生徒・高校中途退学者等への支援
 施策15：経済的に困難な子供への支援
 施策16：一人一人の状況に応じた支援の充実

主に子供を取り巻く環境に関する施策

- 目標Ⅵ 質の高い学校教育のための環境の充実**
 施策17：教職員の資質能力の向上
 施策18：学校の組織運営の改善
 施策19：魅力ある県立高校づくりの推進
 施策20：子供たちの安心・安全の確保
 施策21：学習環境の整備・充実
 施策22：私学教育の振興
- 目標Ⅶ 家庭・地域の教育力の向上**
 施策23：家庭教育支援体制の充実
 施策24：地域と連携・協働した教育の推進

あらゆる年齢層に対する施策

- 目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進**
 施策25：学びを支える環境の整備
 施策26：学びの成果の活用の促進
- 目標Ⅸ 文化芸術の振興**
 施策27：文化芸術活動の充実
 施策28：伝統文化の保存と持続的な活用
- 目標Ⅹ スポーツの推進**
 施策29：スポーツ・レクリエーション活動の推進
 施策30：競技スポーツの推進

（埼玉独自の全国をリードする取組）

- ①埼玉県学力・学習状況調査や協調学習といった独自の取組の横展開化 ②学習データを活用した個に応じた学びの研究開発 ③社会に開かれた学校づくり

計画の推進に際して

- 市町村、学校、家庭、地域、大学・企業等など、様々な関係者と連携・協働しながら社会全体で教育に取り組む
- 客観的な根拠を重視した行政運営(EBPM)にも留意しつつ、PDCAサイクルにより計画を着実に実現